



# COMO VAI? ロザーネです



(COMO VAI? =ポルトガル語で「ごきげんいかが?」)

## 第13回 ポルトガル語になった日本語

### 発音はそのまま

前回紹介したポルトガル語のあいさつやいくつかの言葉は、もう覚えてもらえましたか?今回は、日本語からポルトガル語になった言葉を紹介합니다。皆さんの身近な日本語が、ブラジルなどでポルトガル語として話されているのです。

びょうぶ ピオンボ  
屏風 = BIOMBO

じゆうどー ジュドー  
柔道 = JUDÔ

さむらい サムライ  
侍 = SAMURAI

すしー スシー  
寿司 = SUSHI

いえん イエン  
円 = IENE

ちゃ シャ  
茶 = CHÁ

ぐいしゃー グイシャー  
芸者 = GUEIXA

きもー キモー  
着物 = QUIMONO

さしみー サシミー  
刺身 = SASHIMI

このように、日本語からきた言葉の多くは、そのままの発音でポルトガル語になっています。ほかにも、いけ花 (=IKEBANA)、剣山 (=KENZAN)、空手 (=KARATÊ) などがあります。柔道や空手など日本から伝わった格闘技では、技の名前や練習するときのかけ声も、日本語と同じ発音です。

### 趣味の世界でも日本語が

食べ物では、天ぷら (=TEMPURA)、焼きそば (=YAKISOBA)、豆腐 (=TOFU)、みそ汁 (=MISOSHIRU) などもブラジルの一般家庭で使われています。

日本食のレストランでは、たいいていの客が、料理とともに

に「POR FAVOR, HASHI」( =すみません、お箸ください) と頼みます。(でも、日本人が聞いたら「端」か「橋」に聞こえるかもしれません)

また、趣味としても人気のある盆栽 (=BONSAI) もポルトガル語として通じる日本語です。さらに、子どもたちの中で大ヒットしているのが、日本の漫画 (=MANGÁ) です。テレビでは日本のアニメも放送されていて、日本風のキャラクターの名前を覚えたり、日本語のまま放送される主題歌を歌ったりしています。

カラオケで歌われる日本の歌と言えば、「上を向いて歩こう」です。アメリカとブラジルでは「SUKIYAKI」という題名で知られています。ブラジルでは、この歌を好きな人が歌詞の意味を調べたり、日本語の歌詞を暗記したりします。

### 離れていても関係は深い

ブラジルは、日本から見れば地球の反対側にある遠い国です。しかし、移住した日本人と、その子孫が築いた日系社会により、日本語は、ブラジル人の生活に自然に溶け込み、社会全体に大きな影響を与えてきました。考えてみれば、日本とブラジルは、距離はあっても関係は非常に深いと感じるのです。

彦根市では、市役所の窓口だけでなく、一般のお店でも「BOM DIA」、「OBRIGADO」とあいさつしてくれることがあります。ブラジル人である私には、とてもうれしいことです。まだ日本語がうまく理解できない外国籍市民の皆さんにとっては、それ以上にうれしいことでしょう。皆さんもポルトガル語や英語などで、あいさつしてみたいかがでしょうか。

私が国際交流員になってからずっと続けてきたこの連載も、今回で一区切りとします。来年度も、私は彦根で国際交流員として活動を続けますので、どこかで出会ったときには声をかけてくださいね。

(彦根市国際交流員 田尾ロザーネ)